



株式会社エム・ジー関ヶ原 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

9 産業と技術革新の
基盤をつくる



9-4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組みを行う。

廃棄される予定の天然石について、再利用可能な製品を開発する事により、資源の利用効率を向上させます。

11 住み続けられる
まちづくりを



11-4 11.4世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
採掘された天然石を無駄なく有効活用する事で、天然石採掘量の減少を目指します。

11-6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払う事によるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
材料管理の適正化により、廃棄素材の再活用を行います。

12 つくる責任
つかう責任



12-2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
廃棄・放置された天然石について、再生加工を行う事で、天然資源の効率的な利用につなげます。

12-5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
既存の天然石製品について、再生加工に対応する事により、リユースにつなげます。

13 気候変動に
具体的な対策を



13-2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

天然石の冷却効果を活用した製品作りに取り組む事で、環境負担の少ない暑さ対策を推進します。

15 陸の豊かさ
守ろう



15-3 2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。

天然石の採掘時に発生する森林伐採により、砂漠化が進行する可能性についての意識を共有し、無駄のない資源の活用につなげます。

■SDGsとは

「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の事です。2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS